

個人と国家の多元的な関係を軸に鮮やかに論じる、壮大な歴史研究の達成――

中東国際関係史 研究

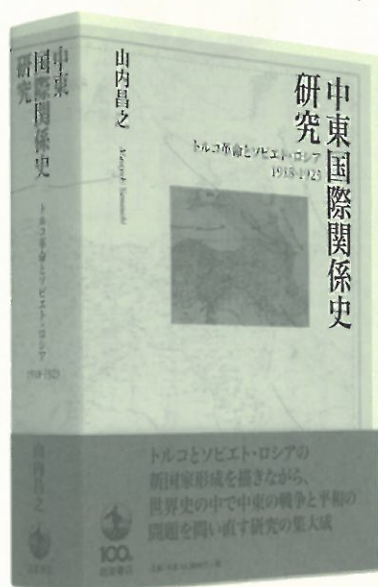
山内昌之著

トルコ革命とソビエト・ロシア
1918―1923

著者のことは

オスマン帝国の解体とトルコ共和国の形成は、現代中東の成立と変容の基礎となった。本書はその意味を政治史と革命史との結合、民族運動史と国際関係史との連関のなかで、40年間研究してきた成果である。また、歴史における個人の役割と政治的リーダーシップの分析を通して、中東の構造を俯瞰する全体史的な叙述も試みたつもりである。

山内昌之



A5判・上製函入・848頁
定価(本体 16,800円 + 税)
ISBN978-4-00-023880-9

目次

凡例

まえがき

序章 帝国から共和国へ

第一部 中東とカフカースの間

トルコの敗戦とカラベキル／三県問題と南西カフカース政府／トルコ民族運動と難民問題／トルコのソビエト幻想

第二部 トルコの東方関係

新しい東方問題／将軍たちとボリシェヴィキ／身のほど知らずの組織／イスタンブールの占領／アゼルバイジャン革命

第三部 アンカラ政府と第一次モスクワ交渉

大国民議会とアンカラ政府の成立／アルメニア・カード／ソビエト政府の回答と東部作戦／カフカースとトルコ民族運動／バクー東方諸民族大会断片／第一次モスクワ交渉

第四部 トルコ・アルメニア戦争とギュムリュ条約

トルコ・アルメニア戦争の勃発／トルコとアルメニアの講和交渉／ギュムリュ条約

第五部 モスクワ条約とバトゥーム危機

トルコ・ソビエト関係、戦争と外交／静かな幕間／トルコの対グルジア政策／第二次モスクワ交渉とロンドン会議／バトゥーム危機

第六部 新しい東方関係とカルス条約

パシヤとコミサル、カラベキルと赤軍／新しい東方情勢とサカリヤの会戦／カルス会議／カルス条約と機密情報漏洩事件

第七部 ローザンヌへの道

カラベキルのいない対ソ関係／ローザンヌ講和条約

終章 トルコとソビエトの「政略結婚」

附録史料

参考史料・文献目録

あとがき

地名・事項索引／人名索引

英文摘要

中東とロシアにまたがる 革命と外交の構造

トルコとソビエトの新国家形成を描きながら、中東の戦争と平和の問題を歴史的に問い直す研究の集大成。



山内昌之やまうち まさゆき

一九四七年生。現在、明治大学研究・知財戦略機構（国際総合研究所）特任教授、東京大学名誉教授。国際関係史とイスラーム地域研究を専攻。

著書に『スルタンガリエフの夢』『ラディカル・ヒストリー』『納得しなかった男』『帝国と国民』『The Green Crescent under the Red Star: Enver Pasha in Soviet Russia, 1919-1922. Hayrut Olmany Adam: Enver Pasha Türkiye'den Türkiye'ye. など』。

『岩波イスラーム辞典』『岩波講座世界歴史』『中公・世界の歴史』などの編集委員も務めた。



岩波書店

〒101-8002 千代田区一ツ橋一-五
電話 03(5210)4000（案内）
<http://www.iwanamishop.jp/>

取扱書店

※申込書に記入された個人情報は、ご注文の書籍の発送およびご連絡のみに使用します。[2013.11]

●ご住所 〒

●お電話

●お名前

[岩波書店刊]

中東国際関係史研究

トルコ革命とソビエト・ロシア
1918-1923

を購入します。

購入申込書